

はばたけ！
広島サンダース

久原 大輝

金子聖輝選手が左膝の手術を行った。練習中に古傷が再発し、競技を続ける上での決断だった。

手術という言葉だけを聞くと治療の一つに思えるが、選手にとっては簡単に選べるものではない。術後の痛みや長期間のリハビリ、競技復帰までの険しい道のりを考えると、不安は計り知れない。本人も最後まで手術を受けるかどうか悩み続けていた。

それでも背中を押したのは、「10年後も現役選手としてプレーする」という金子選手の目標だった。目先の数カ月ではなく、その先のキャリアを見据えた末の決断。早い段階で治療に踏み切ることが、結果的に一番の近道になると信じ

金子選手 復帰への挑戦

て手術に臨んだ。

現在は無事に手術を終え、競技復帰に向けたリハビリに取り組んでいる。プレーはもちろん、声や雰囲気づくりなど、彼の存在はチームに大きな影響を与えているだけに、今夏を共に過ごせないのは寂しい。この期間を乗り越えた先には、たくましくアップグレード

した姿でコートに戻ってきてくれるに違いない。

今回、迅速に対応していただいた広島大病院（広島市南区）の関係者の皆さまには心から感謝したい。多くの方々の支えを力に変えながら、一歩ずつ前へ進む金子選手の復帰を、チーム全員で待っている。（広島マネジャー）



広島大病院を退院した金子選手（7月17日）